



お問い合わせ
政策推進課
☎ 4-2511 内線 231
☆ 4-251102

「森の寺子屋」2020中間発表開催!!



10月26日総合福祉センター「ハピネス」にて、「森の寺子屋」2020の中間発表が開催されました。今年の7月から開催された「森の寺子屋」2020のプレイヤーのみなさんのチャレンジがどのように進んでいるのか発表していただきました。今月号と来月号で、プレイヤーのみなさんの中間発表を紹介します。



大石陽介さん



大石さんは「下川町の魅力を伝えていきたい」と志し、チャレンジを展開してきました。

8月には約2か月間下川町の魅力を堪能できる地域体験ツアーである「ぐるっとしもかわ」を開催しました。下川町のまちあるきや下川町の「ヒト」に出会えるプログラム、下川町の「食」を楽しめるプログラムなど下川町の魅力や日常



図1: ぐるっとしもかわ
<https://www.gurutto-shimokawa.com>

今後は、下川町の魅力を詰め込んだ空間であるサステイナブルキャビンづくりを挑戦するための情報収集を進めていきます。この空間に、下川町の木材を活用したり、町内事業者が作ったものを活用するなど下川町ならではの空間づくりを模索しています。



図2: サステイナブルキャビンイメージ
DEN Outdoors
<https://denoutdoors.com/>

山田泰生さん



山田さんは「森の寺子屋」第1期から3年連続で参加し、エゾシカ加工に挑戦しています。

発表会ではこれまでの「森の寺子屋」1期から3期にかけて取り組んでいる、エゾシカ活用について発表していただきました。これまで、鹿肉のプロシュートや鹿肉を原料とした醤油を試作し、今後は鹿皮のなめしも挑戦していきます。山田さんは肉や骨、内臓まで鹿を余すことなく活用し、下川町の新しい特産品やまちづくりにつなげていきたいと志し活動しています。



エゾシカ肉醬↑
鹿肉のプロシュート→

三浦かなさん



三浦さんは、下川町のごみが落ちていることに問題意識を持ち、できるだけゴミ拾いを行わずきれいな町を維持していきたいと志しています。発表会では、今後行いたいこととして、マナーの向

来場者の一言

上やルール作り、美化活動の三方向からなにか取り組めないか、来場者と一緒に考えました。ゴミを捨てたくなるようなポスター作りも始め、近日中に掲載予定です。

当日は、来場者のみなさんにアンケート形式で各プレイヤーへメッセージをいただきました。発表を通して、来場者もチャレンジの魅力を共有しました。いただいたメッセージの一部を紹介いたします。

「目標に向かって活動されているみなさんのお話を聞いて、刺激を受けました。頑張ってください!」

「下川町民として、将来どんなサービスを受けられるか毎回ワクワクして参加させていただいております。頑張ってください!」

「しもかわまちづくりnote」にて森の寺子屋情報を随時更新中

